

あいさつ | 6 平成17年 年頭の所感 ● 文部科学大臣 中山成彬

特集 新たな文化財保護行政の展開

- 巻頭言 16 我が国の文化遺産に流れる精神性 ● 河合肇雄
- 解説1 18 文化財保護法の一部改正 ● 文化庁文化財部伝統文化課
- 事例紹介1 26 文化的景観モデル事業 ● 文化庁文化財部記念物課
- 事例紹介2 29 登録有形文化財の活用の取組 ● 文化庁文化財部建造物課
- 解説2 34 世界の文化遺産保護の新たな取組の始まり
● 文化庁文化財部伝統文化課／佐藤國雄／文化庁文化財部記念物課
- 事例紹介3 48 「世界遺産デジタル映像アーカイブス」の取組 ● 日本放送協会
- 事例紹介4 50 アフガニスタン文化財保存修復協力事業 ● 文化庁文化財部伝統文化課
- トピックス1 52 地域における伝統文化と食 ● 文化庁文化財部伝統文化課
- トピックス2 54 新しい美術館・博物館の取組 ● 文化庁文化財部美術学芸課

特別記事 子どもの体力向上について

| 56 子どもの体力向上について ● スポーツ・青少年局生涯スポーツ課

- 12 あのひとにこのはなし ● 水谷 豊
- 14 インフォメーション
- 66 地域発！使ってたよ エル・ネット
● 作品見本をカウンタに展示中!!
- 68 自分大好き体験！
● 国立山口徳地少年自然の家
70 大学共同利用機関法人
高エネルギー加速器研究機構に
ついて(2)
- 72 科学技術のフロンティア
● 私たちの将来を支える新しい
エネルギー源の研究開発
- 74 SPP事業(全国版)
科学技術・理科大好きプラン最新線
● 目に見えないものを測る
— 岩手大学 —
- 76 海外最新情報
- 78 インフォメーション
- 82 鑑賞席
- 84 編集後記

カラー

- 1 あたらしい学舎(まなび)part II
● 静岡県立清水南高等学校
同中等部
- 表2 温故知新
● 旧筑後川橋梁(筑後川昇開橋)
- 表3 温故知新
● 113番元素の発見に成功

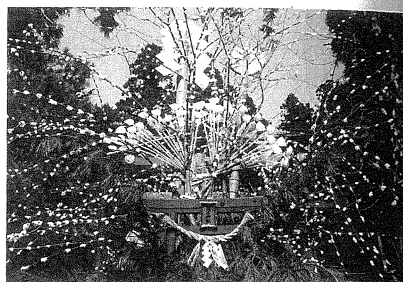


蓬萊記に登場するさまざまなもちを飾った山車（栗田部の蓬萊記：山車を引き回し、五穀豊穡などを祈願する正月行事）【福井県今立郡今立町栗田部】

性を見いだすことのほうが困難なのではないだろうか。

以上のような現状を踏まえ、今回、文化庁においては、現代の各家庭における雑煮がどのようなものであるのか、レシピ等を全国公募する「お雑煮一〇〇選」を企画した（平成一六年の年末から募集を開始し、一七年一月一二日に応募を締め切り、現在集計中である）。

この企画は、平成一七年の正月に食した祖父母、父母から代々伝わる雑煮や各地に伝わる雑煮などを広く一般に募集するもので、多種多様であるといわれている雑煮が全国各地でどのくらいあるのかを概観するものである。



栗の木に小さなもちをつけたもち花や扇状に飾られたくしもち（栗田部の蓬萊記）

てまつる際の供物が本義であり、大晦日の夜は年取りといって家族揃って祝膳につき、年神の供物と同じものを共食するのが基本であった。しかし、神への供物と同じものを食べることで神の加護を得ようとしたという本来の意味が薄れ、百貨店、小売店などや商店で購入することが徐々に広まり、正月がいわゆる形式的な儀礼となりつつある現在では、このような伝統的な食を世代から世代へと伝承していくことはなかなか困難なことに違いない。

ところで、正月料理は、ほぼ全国的に食されるものである。しかし、地域によって差異があり、おせち料理にしろ、雑煮にしろ、その地域の産物を素材としている部分については地域差があることはもちろんであるが、地域の中においても各家庭によって、材料、調理法が異なること

のである。応募の際には雑煮の写真とレシピ（①雑煮名、②もちの形と調理法、③もちの中に何が入るか、④もちの大きさ、⑤汁の味、⑥雑煮の作り方へ材料、調理法）に加え、もちや雑煮にまつわる言い伝えや習わし、応募者およびその家族の思い出、応募者の出身地などを記入していただいた。そして、審査過程では、これら①～⑥のレシピを基に分類を行ったうえで、応募用紙に記載された、その雑煮にまつわる言い伝えや応募者およびその家族の思い出なども考慮に加える。今回、応募用紙にレシピ以外にこれらの事項を記入し

てもらうことで、応募者それぞれの個性（特性）を引き出す試みをしている。また、応募者の出身地などを入れてもらうことで、現住所による分布のみでなく、出身地を基にした雑煮の分布図を作成できればと考えている。

なお、本年度末をめどに、これらの結果が紙面にて発表できるよう、文化庁としては鋭意取りまとめていく予定である。

最後に、日本的な年中行事などが、核家族化などにより徐々に薄れつつある今日において、このような企画が人々の伝統文化への評価に一石を投ずるものであってほしいと願うと同時に、親から子へ、子から孫へと受け継がれていく文化の大切さを思い起こす契機となれば幸いである。

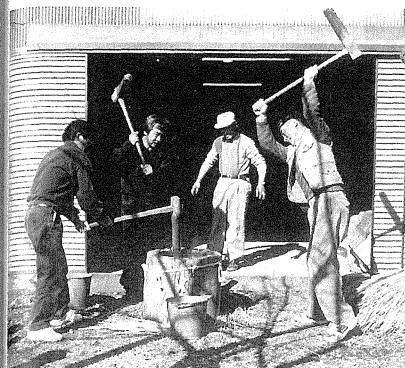
*1「日本民俗大辞典 上」（吉川弘文館、一九九九年の「正月料理」の項参照）

*2「日本民俗大辞典 上」の「共食」の項には、「広義には、特定の機会に家族・親族・地域社会の成員が集まって、同じ食物をともに食すること。…（中略）…狭義には、終年終後の直会の席で、神職・氏子があい集い、供えた神饌、供物をともに飲食すること。…（中略）…このような供物には神から与えられた特別な力があるものとされ、共食することによって成員の長寿・子孫繁栄・生活安寧などが得られるものと考えられた」とある。

トピックス

地域における伝統文化と食

文化庁文化財部伝統文化課



春嶽祭に向けてのもちつき（樋越神明宮の春嶽祭：初春に行われる稲作の豊作祈願の行事）【群馬県佐波郡玉村町樋越】

一月といえは、正月。そして、正月行事といえは、日本中見渡すと数多くあるが、例えば、初詣、七草、ドンド焼きなどが挙げられ、それぞれの行事ごとに細かいしきたりがある。また、正月といえは、正月料理は欠かせない。『日本民俗大辞典』によると、正月料理とは、「年神を迎える



大きな鏡もちを神明宮へ運ぶ行列（樋越神明宮の春嶽祭）

てまつる際の供物が本義であり、大晦日の夜は年取りといって家族揃って祝膳につき、年神の供物と同じものを共食するのが基本であった。しかし、神への供物と同じものを食べることで神の加護を得ようとしたという本来の意味が薄れ、百貨店、小売店などや商店で購入することが徐々に広まり、正月がいわゆる形式的な儀礼となりつつある現在では、このような伝統的な食を世代から世代へと伝承していくことはなかなか困難なことに違いない。

ところで、正月料理は、ほぼ全国的に食されるものである。しかし、地域によって差異があり、おせち料理にしろ、雑煮にしろ、その地域の産物を素材としている部分については地域差があることはもちろんであるが、地域の中においても各家庭によって、材料、調理法が異なること

についても、つとに指摘されている。また、交通の発達等により人々の移動が容易になり、勤務形態の変遷（国内・国外出張、全国的な転勤、勤務地の都市への集中など）や家族形態の変化（核家族化など）が見られる今日においては、地域の食の類似

特集

国立大学の法人化

1年を振り返って

▽あけましておめでとーい(ざい)います。読者の皆さまにおかれましては、年末・年始はいかがお過ごしになりましたでしょうか。国内だけでなく海外で新年を迎えた方などいろいろな過ごし方があったかと思えます。私は例年初詣に行っている近所の神社で折願をし、友人たちと会ったりしてのんびりと新年を迎えました。▽昨年もさまざまなことがありましたが、はたして今年はどういう年になるのでしょうか。昨年は暗いニュースも多く耳にしましたので、今年は例年以上に明るく、楽しいニュースでいっぱいの幸多い年であってほしいですね。

▽今月号の特集は「新たな文化財保護行政の展開」です。文化財保護制度の改善や文化財分野の国際的な動向への対応など文化財保護行政における取組について文化財保護制度の改善、文化財分野の国際的な動向等の観点から文化財保護法の一部改正の解説や事例紹介、トピックスなどの構成でわかりやすく紹介しておりますので、ぜひご一読ください。▽丸の内線の仮庁舎に移転して一年が経過しました。新年を迎え、これからも誌面の一層の充実に向けて努めてまいりますので、本年も『文部科学時報』のご愛読よろしく願っています。

(谷)

●巻頭言

佐々木毅

●座談会

相澤益男／天野郁夫／滝 紀子／清水孝悦

●あたらしい学舎part1

東京都立六郷工科高等学校
あの一とにこのはなし——ラサール石井

投稿
歓迎

- 「読者からのたより」欄への投稿、「文部科学時報読者アンケート」を歓迎します。本誌を読んでの感想、御意見等をお寄せください。
- 「読者からのたより」投稿規定
 - ①1件につき400字以内 ②住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記(誌上匿名可) ③掲載分には薄謝進呈
 - ※文章を一部手直しさせていただくことがあります。
 - 〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1 文部科学省大臣官房政策課「文部科学時報」編集部 ※電子メールでも受け付けております。
 - 「文部科学時報読者アンケート」
 - 文部科学時報読者アンケートは添付のはがきのほかに電子メールでも受け付けております。
 - 宛先名「jiho@mext.go.jp」

コンピュータネットワークを利用した文教行政の広報

文部科学省では、我が国の文教施策等を広く皆様に紹介するため、インターネットホームページを利用して情報を提供しています。また、子どもホームページを設け、情報を提供しています。

ホームページアドレス：
<http://www.mext.go.jp/> (半角入力)

子どもホームページアドレス：
<http://www.mext.go.jp/kodomo/index.htm>

MEXT.61 月刊

文部科学時報 1月号

第1546号

●著作権所有——文部科学省◎

●発行所——株式会社 きょうせい

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12
本部 〒167-8083 東京都杉並区荻窪4-30-16
電話 03-5349-6666 (営業部)
URL <http://www.gyosei.co.jp>
●印刷所——ぎょうせいデジタル株式会社

平成17年1月10日印刷
平成17年1月10日発行

定価610円(税別581円)(¥84円)
年間購読料7,320円

・ただし、増大号、臨時号の場合は別に代金を申し受けます。
・なお、購読のお申し込みは直接営業所またはよりの書店にてお願いいたします。

●本誌の掲載のうち、意見にわたる部分については、それぞれ筆者個人の見解であることをお断りいたします。

Printed in Japan 2005 ISSN 1346-325X ●この刊行物は再生紙を使用しています。